

① M&Aを通じた業界再編は続き、事業拡大もトッププレイヤーほど進み、寡占化は一層進んでいくでしょう。また、人材需給は悪化し、介護報酬単価のさらなる削減が迫られるなかで、ようやく経営能力が必要となってくる時代が到来するでしょう。特に経営者は運営能力だけでなく、金融、テクノロジー等、幅広い知見が求められるでしょう。

② この数年は比較的大きな規模のM&Aが進みましたが、今後もこの流れはしばらく続くでしょう。しかし、今後数年で将来的なメインプレイヤーはほぼ絞られ、20社程度の争いのなかで一定の寡占化が進むでしょう。事業承継は、単なる運営能力だけではなく、金融の知見が必要で、M&Aの巧拙は如実に出るでしょう。

③ 近年、一定規模のM&Aが進む過程で内部管理の統一化・強化に、時間と労力が割かれる傾向にありましたが、開発型投資

の仕組み化が進み、開発意欲のある事業者は急激に拡大するでしょう。一方、急激に拡大できる運営者は、人材教育、業務の効率化等地道な活動を続けてきた事業者に限られ、それ以外は困難な運営を迫られるでしょう。

④ 人材採用、人材育成・定着、外国人材活用、ICT・ロボット導入による業務効率改善、M&A等による企業・事業規模拡大、アジア進出

⑤ 研修、定期面談、キャリアカウンセリング、相談窓口の多様化、初任者研修、介護福祉士等資格取得機能の内包化、飲み会の推奨、社内サークル活動の支援、職員誕生日祝い等。

⑥ HISの運営する「変なホテル」のような省人化事業所「変な施設」構想を産業総合研究所等と共同で推進中。2019年に大田区で開設予定。



蘇りビングプラットフォーム
代表取締役

金子洋文氏